

RATOC VSP(COM ポートエミュレートドライバー)を使用すると、REX-WF60 お よび REX-ET60 に割り当てられた IP アドレス/ポート番号を仮想 COM ポートへ割 り当てることができます。

(1) RATOC VSP のインストール

RATOCVSP.msi を実行します。

(環境によっては拡張子の「.msi」が表示されない場合があります。)

「.NET Framework version 4.0」が インストールされていない環境では、 右の画面が表示されますので「Yes」 をクリックし、ダウンロード・インス トールを行います。

「.NET Framework version 4.0」が インストールされている場合は、以下 の手順に従い RATOC VSP のインス トールを行います。

「Next」をクリックします。





「I Agree」を選択し「Next」をクリ ックします。



インストール先を選択し「Next」をク リックします。

[Everyone] -- この PC を使用してい るすべてのユーザーが使用する場合。

[Just me] -- 現在使用中のユーザーの み使用する場合。

「Next」をクリックします。

ユーザーアカウント制御の画面が表 示される場合は「はい」をクリックし ます。

以上でインストールは完了です。

「Close」をクリックします。



The installer is ready to install RATOC VSP on your computer.

Click "Next" to start the installation.



Cancel < Back Next >



(2) COM ポートへの割り当て

RATOC VSP を起動します。

「ユーザーアカウント制御」の画面 が表示される場合は「はい」をクリ ックします。

初回起動時はコマンドプロンプト画 面が表示されますが、RATOC VSP が起動するまで、そのまま待ちます。







【COM ポートへ割り当てる手順】

製品の IP アドレスを自動で検索する方法と、手動で入力する方法があります。

対象となる製品にチェックを入れます。
 [TCP ポート番号]には自動的に対応した番号が入力されます。
 REX-ET60:「5000」
 REX-WF60:「2000」
 REX-WF60:「2000」
 REX-WF60:
 REX-WF60:<

【自動で検索する場合】

[自動]を選択し「検索」をクリ ックします。

REX-ET60 を選択した場合は、 検索用パスワードの入力が必要 です。 デフォルトでは「ratoc」となり ます。 (パスワードの変更方法について は、REX-ET60 のマニュアルを ご参照ください。)

検出されると、[リモート IP/ ホスト名]に製品の IP アドレス が表示されますので、 「リストに追加」をクリックしま す。

※ [自動]では4台までの検索と なります。 同一ネットーワーク上に5台 以上接続している場合につい ては巻末の「Appendix」をご 参照ください。

Serial to Ethernet Server	新規作成 // 編集 /// // // // // // // // // /
	種類 接続設定 作成するシリアルポートの設定
	検索対象:
	リモート IP/ホスト名:
	◎ 自動
	◎ 手動 localhost
	TCPポート番号: 2000 リストに注意加
	IP address Port 使用しない設定は、リストとり削 除して設定を更新してください。

パスワー	-ド入力
177	ワードを入力してください。
	ОК

Serial to Ethernet Server	新規作成 / 編集
	種類接続設定
	作成するシリアルボートの設定
	検索対象: ■ REX-ET60 V REX-WF60 検索
	リモート IP/ホスト名:
	● 自動 1.2.3.4 (Wifty-GSX-f0)
	◎ 手動
	TCPボート番号: 2000 リストに追加
	IP address Port 使用しない設定は、リストは7的 除して設定を更新してください。
	Sultzuurt-k##: COM1 COM#-k/Ent

【手動で入力する場合】

[手動]を選択し、あらかじめ確 認しておいた製品の IP アドレ スを入力し

「リストに追加」をクリックし ます。



2. [シリアルポート番号]を選択し
 「COM ポート作成」をクリックします。



- 3. RATOC VSP の左欄に仮想 COM ポートの情報が追加されます。
- ※ 本製品の IP アドレスを DHCP サーバーより動的に割り当てて いる場合、IP アドレスが変更さ れることがあります。
 IP アドレスが変更されている場 合は、「(3) 設定の編集」をご参考 に再設定を行ってください。



仮想 COM ポートが追加されると、 デバイスマネージャーの [ポート(COM と LPT)]に [ELTIMA Virtual Serial Port (COMxx)]が追加されます。



[ポート(COM と LPT)]に追加され ていない場合

[Virtual Serial Ports 7 (Eltima Software)]の下に追加される場合も 同様にご使用いただけます。

🚇 デバイス マネージャー -		×		
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)				
🗢 🔿 📰 🖾 🛛 🖬 🔯 🎼 😽				
V 📇 DESKTOP-PIGJ84K		^		
> 🔐 DVD/CD-ROM ドライブ				
> 🖙 IDE ATA/ATAPI コントローラー				
> 🏺 IEEE 1394 ホスト コントローラー				
> E PCMCIA アダプター				
> 🗾 SD ホスト アダプター				
 Virtual Serial Ports 7 (Eltima Software) 				
ELTIMA Virtual Serial Port (COM3)				
> 💵 オーディオの入力および出力				
> 📖 キーボード				

(3) 設定の編集

作成済み設定の[リモート IP/ホスト名] [シリアルポート番号]を変更することができます。

🛞 RATOC VSP Ver1.10.4

🖉 Edit 🔞 Delete 👩 Delete all 🔞 Exit

1. [編集]タブをクリックし、

「(2) COM ポートの割り当て」と同 様に製品を検索します。

検出された製品を選択、[TCP ポー ト番号]を入力し「リストに追加」を クリックします。

2. 使用しない設定はリストより削除します。

(リスト内には1つの IP アドレスで の運用を推奨します。)



3. 「更新」をクリックすると変更し た内容に更新されます。

(シリアルポート番号を変更する場合は、COM ポート番号も変更した後に「更新」をクリックします。)



(4) その他の機能

RATOC VSP の[接続設定]の機能について説明します。

🛞 RATOC VSP Ver1.10.4	
🔗 Edit 🔞 Delete 阂 Dele	te all 🔞 Exit
G-Serial to Ethernet Server ⊕-COM5 [Client]	● 新規作成 ● 編集 種類 接続設定 シリアルボートの Read 権限: All ・ シリアルボートの Write 権限: All ・ ジリアルボートの Write 権限: All ・ 『 "Keep alive" 送信間隔 7 ☆ sec 広告がない場合の送信間隔 指定時間過信がなければ切断する 10 ☆ sec 1 ☆ sec

[シリアルポートの Read 権限]

- All -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、 すべての製品でデータ受信します。
- None -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、すべての製品がデータ受信しません。
- Only first -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されてい る場合、リストの一番上に登録されている製品のみデータ受信します。

[シリアルポートの Write 権限]

- All -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、 すべての製品でデータ送信します。
- None -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、すべての製品がデータ送信しません。
- Only first -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されてい る場合、リストの一番上に登録されている製品のみデータ送信します。

["Keep alive"送信間隔] -- "Keep alive"パケットの送信間隔を指定します。

[応答がない場合の間隔] -- "Keep alive"パケットに対して応答がない場合に、指定 した時間間隔で"Keep alive"パケットを送信します。

[指定時間通信がなければ切断する] -- 指定時間"Keep alive"パケット送信に対す る応答がない場合に、"Keep alive"パケッ トの送信を停止します。

巻末 Appendix

■ 5 台以上接続時の COM ポート設定方法

同一ネットワークに本製品が5台以上接続している場合、RATOC VSP では検出 できる台数が4台までとなっておりますので、未検出となった製品を手動で設定す るか、または以下の様に設定する必要があります。 (REX-ET60が6台接続時を例に説明します。)

■ 自動検索で設定する場合

4 台分(①~④)の電源を ON にし、RATOC VSP で検出・設定します。



次に、設定済みの①~④の電源を OFF にし、RATOC VSP で検出・設定します。

